様式第３号（第９条関係）

会　議　録

<table>
<tr><td colspan="7">会　議　名　　第２回　嵐山町立学校統合準備委員会</td></tr>
<tr><td rowspan="2">開 催 日 時</td><td colspan="3" rowspan="2">令和７年２月１９日（水）</td><td>開　　会</td><td colspan="2">午後　５時４０分</td></tr>
<tr><td>閉　　会</td><td colspan="2">午後　６時０４分</td></tr>
<tr><td>開 催 場 所</td><td colspan="6">嵐山町役場　２０４・２０５会議室</td></tr>
<tr><td>会 議 次 第</td><td colspan="6">１　開　会
２　あいさつ
３　議題
（１）新しい学校の校名について
（２）その他
４　閉　会</td></tr>
<tr><td>公開・非公開の別</td><td colspan="2">公　　開</td><td colspan="2">傍聴者数</td><td colspan="2">なし</td></tr>
<tr><td>非公開の理由
（非公開の場合）</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td rowspan="6">委員出欠状況</td><td>委　員　長</td><td>林　雄一
（随行　須長雅紀教頭）</td><td>出</td><td>副 委 員 長</td><td>西川　光治</td><td>出</td></tr>
<tr><td>委　　員</td><td>八木原　夏実</td><td>出</td><td>委　　員</td><td>戸坂　千寿子</td><td>出</td></tr>
<tr><td>委　　員</td><td>安藤　淳之介</td><td>出</td><td>委　　員</td><td>石森　奈通子</td><td>出</td></tr>
<tr><td>委　　員</td><td>髙橋　誠</td><td>欠</td><td>委　　員</td><td>関根　盛敏</td><td>出</td></tr>
<tr><td>委　　員</td><td>横澤　紗智子</td><td>出</td><td>委　　員</td><td>服部　朋秋</td><td>出</td></tr>
</table>

	委　員	小林　正人	出	委　員	清水　進	出
	委　員	荒川　統	出	委　員	髙田　享	出
	委　員	小野川　和史	出			
事　務　局	教 育 長	下村　治		教育総務課課長	高橋　喜代美	
	副課長	尾針　雄介		指導主事	吉井　大輔	
	指導主事	神田　貴裕		主　任	吉野　祐介	
	主　任	篠﨑　照				

次　　第	てん　末	
1　開　　会	事務局	
2　あいさつ	林委員長	
3　議題 （1）新小中学校の学校名について		林委員長が議長となり、議事を進行。 事務局より、（1）新しい学校の校名について、資料に基づき説明。
	林委員長	先ほど開催された総務部会における結果を申し上げる。 第１候補 「嵐山町立武蔵嵐山小学校・中学校」 第２候補 「嵐山町立嵐山小学校・中学校」 第３候補 「嵐山町立むさし嵐山小学校・中学校」 なお、小学校と中学校は同じ敷地内となることから、校名は統一した方が良いだろうということで、このような結果になっていることをご承知おきいただきたい。
	事務局	挙手制により総務部会としてはこのような結果となった。 この後は、本日の統合準備委員会で承認をいただければ、教育委員会へ報告し、承認をいただければ、総合教育会議へ進んでいくことになる。

		総務部会の結果を見ると、一般投票の順位とは若干入れ替わっている部分がある。これはこれで良いことではあるが、先ほどの総務部会では、校名は統一した方が良いという意見のほかには、「なぜこれが良いのか」「なぜこれを選んだのか」という意見は特に出なかったかと思う。教育委員会へ報告し説明するには、「なぜこうなったのか」という理由が必要になってくる。「嵐山町立武蔵嵐山小学校・中学校」が良いと思った理由やご意見をいただきたいと考えている。
	下村教育長	補足させていただく。本日の統合準備委員会は、総務部会での提言を受け、学校名候補を正式な１位・２位・３位に承認いただくことが最終的なゴールとなる。 まず、先ほどの総務部会では、「小学校と中学校の校名は統一する」ということで委員の皆さんの合意が得られた。そして、挙手制により候補の順位が決まったことも承知している。 そのような中で事務局が気になっていることは、一般投票の得票数と総務部会で決定された候補順位に違いがあるということ。一般投票の得票数を超えて順位を変えることについては、この後の教育委員会や総合教育会議へ提案することに関して一定の明確な理由が必要になってくると考えている。この統合準備委員会における審議の中で、「嵐山町立武蔵嵐山小学校・中学校」が一番良いという理由やご意見をいただきたい。一般投票の得票数との齟齬を意識し、それらを加味しながらご意見をいただければと考えている。
	林委員長	総務部会で決定した順位が一般投票の順位と入れ替わっていることについて、教育委員会へ報告するにあたってはその理由を明確にする必要があるというお話が事務局からあった。これについて委員の皆さんからご意見をいただきたい。
	安藤委員	個人的な意見として申し上げる。私は校名募集の際、皆に歴史を忘れてほしくないという理由から比企菅谷小学校・中学校を案として記載した。しかし、今回の一般・児童生徒の投票結果から、「嵐山」というところを重視した方が良いのかなと感じている。だから総務部会では「武蔵嵐山」に手を挙げた。「嵐山」が良いというのは、もうみんなが分かっている中で、「武蔵」というところに意味があると

		思っている。歴史や土地柄などに重きを置きたいと感じたので「武蔵嵐山」を選んだ。平仮名の「むさし」よりも、漢字の「武蔵」として歴史に残すという意味で、「武蔵嵐山」が良いと思った。
	関根委員	漢字の「嵐山」だけでは、単純に「あらしやま」と間違える恐れがある。実際に京都には「嵐山(あらしやま)小学校・中学校」がすでに存在している。だから個人的には、「武蔵嵐山」が良いと思っている。平仮名の「むさし」は無いと思っている。平仮名表記には知性が感じられない。武蔵は「武蔵国」からきているものと承知しているが、これは平仮名ではなく漢字である。武蔵の国にあるから「武蔵嵐山」なのであって、小学生だから平仮名という考え方は、小学生を馬鹿にしているとなりかねない。校名としては漢字であるべき。「武蔵嵐山」が良いと思うが、平仮名の「むさし嵐山」になるのならば、「むさし」は取ってしまい「嵐山」にした方が個人的には良い。なぜ武蔵嵐山なのかと説明を求められたならば、私は以上のような説明で良いのではないかと思っている。
	横澤委員	私も「武蔵嵐山」を第1候補として手を挙げた。第2候補の「嵐山」では単調になりすぎるが、「嵐山」という地名は使いたかったということと、「武蔵嵐山」は駅名としても使われているので良いと思った。
	服部委員	一般投票を行った時点で、小学校と中学校の学校名は同じにすることが相応しいということを、はっきり決めたうえで投票は行われたのか。そうしていないのであれば、このような投票結果になるのは当然ではないか。一般投票の得票数と総務部会で決定した候補順に齟齬があることについては、一般投票後の総務部会において小学校と中学校の校名は統一するという方針を決めて進めたからという説明で良いのではないか。あくまで個人的な意見ではあるが。
	清水委員	児童生徒の得票数と、小学校と中学校の校名は統一するという方針から、小学校は「むさし嵐山小学校」、中学校は「武蔵嵐山中学校」とした方が、説明がつくのではないかと思う。
	髙田委員	学校の統廃合が行われると校名は無くなっていく中、町の中心には武蔵嵐山駅があるということから、この辺りに落ち着くのが良いのかなと思っている。武蔵嵐山駅もあって、武蔵嵐山小学校・中学校もある、というのが良いと思う。

		また、私の個人的な経験上の話ではあるが、学校は呼び方・呼ばれ方で印象が変わることがある。例えば、「嵐山中学校」は略して「らんちゅう」と呼ばれることも予想されるが、「らんちゅう」という言葉はどこか荒れている学校のイメージを受ける。一方で「武蔵嵐山中学校」は略して「むさらん」になるが、呼び方は「むさしらんざん」である、と子供たちへ指導していけば、少なくとも呼び方が「らんちゅう」になることはないと思う。あくまで私の経験上の話なので、参考にしていただければと思う。
	林委員長	さまざまなご意見を伺った。十分な理由づけになったと思うが、事務局はいかがか。
	事務局	参考にさせていただく。
	林委員長	この後、総務部会の決定事項について統合準備委員会で承認が得られれば教育委員会へ報告することになる。 ここで、総務部会の決定事項を統合準備委員会で承認して良いか、決を採らせていただく。統合準備委員会として承認することでよろしいか、賛成の方は挙手をお願いしたい。
		【挙手多数】
	林委員長	賛成多数により、総務部会で決定した候補順のとおり、教育委員会へ報告させていただく。 教育長へお願いしたい。統合小中学校の校名について、この結果を統合準備委員会の意見として、教育委員会へご提案していただくことでよろしいか。
	教育長	承知した。意見として承った。統合準備委員会の意見として、教育委員会へ提案させていただく。 教育委員会で採決が行われ、その結果を総合教育会議にかけ、最終的な採決が行われることになる。 また、ここで第３候補まで決めさせていただいたのは、教育委員会で第１候補が否決された際に、本来であればこの会議に差し戻さなければならないが、第２候補、第３候補という順番に提案し、採決いただくことが可能になるからである。総合教育会議も同様の段取りで、この会議に差し戻すことがないような方法で進めたいと考えているのでよろしくお願いしたい。
	林委員長	（２）その他について、事務局より何かあるか。
	事務局	議案として審議いただくことは特にない。この後事務連絡としてお話させていただく。
	林委員長	承知した。それでは本日のすべての議案が終了したので、

		議長の職を解かせていただく。ありがとうございました。
	事務局	事務連絡を申し上げる。委員の皆さんには、統合準備委員会や各部会に出席いただいているが、委員報償の支払いがまだできていない。委員報償は会議に１回出席いただくと4,500円で、２回目の9,000円を限度にお支払いさせていただくことになっている。３月中にお振込みできるよう準備を進めるので、各自通帳の確認をお願いしたい。 また、今後の会議の予定としては、２月２１日に教育委員会と総合教育会議を開催し、３月２８日に通学・安全部会を予定している。総務部会については、４月に入ってから皆さんの予定を確認させていただき、日程を決めたいと考えているので、その際はよろしくお願いしたい。
４　閉　　会		

以上、会議のてん末を記載し、その相違なきを証するため、ここに署名する。

令和７年３月19日

委員長　林　雄一

副委員長　西川　光治